

豊田市 報道発表資料

2008年5月23日 - 本市初のPFI事業 - 『(仮称)豊田市交通安全教育施設整備・運営事業』の進捗状況をお知らせします

本市初のPFI事業として、本年1月に優先交渉権者(日本道路グループ:日本道路(株)、矢作葵ビル(株)、(株)乃村工藝社、(株)トヨタ中央自動車学校など)を決定し、契約協議を進めてまいりました(仮称)豊田市交通安全教育施設整備・運営事業の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

なお今後は、事業契約締結後直ちに施設の設計協議を開始し、平成22年4月の教育施設オープンに向け、具体的な協議・調整を重ねながら施設整備及び運用準備を進めてまいります。

1 PFI事業の進捗状況

平成20年1月7日	優先交渉権者及び次点交渉権者の決定
平成20年1月31日	優先交渉権者との基本協定締結
平成20年3月21日	債務負担行為設定の議決(3月市議会)

この間、断続的に優先交渉権者との契約協議を実施しました。

2 契約予定者(優先交渉権者が本事業のために本年4月に設立した特別目的会社)

豊田市三軒町八丁目18番地(トヨタ中央自動車学校内)

豊田交通教育株式会社(代表取締役 社長 澁谷博志<日本道路株式会社>)

3 今後の事業スケジュール予定

平成20年5月23日	仮事業契約の締結
平成20年6月	事業契約締結の議決(6月市議会)
平成20年6月~平成21年1月	基本設計及び実施設計
平成21年1月~平成22年3月	建設及び運用準備
平成22年4月~平成37年3月	維持管理及び事業運営

この間、施設条例の制定(21年9月市議会)及び指定管理者の指定(21年12月市議会)を予定しています。

参照資料として、本事業の概要【資料1】及び提案の概要【資料2】を添付しましたのでご参照ください。

[概要1](#)

[概要2](#)

このページについてのお問合せは社会部交通安全課へ

豊田市役所 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地 電話:0565-31-1212

FAX : 0565-33-2221

Copyright(C) 2007 Toyota City All Rights Reserved.

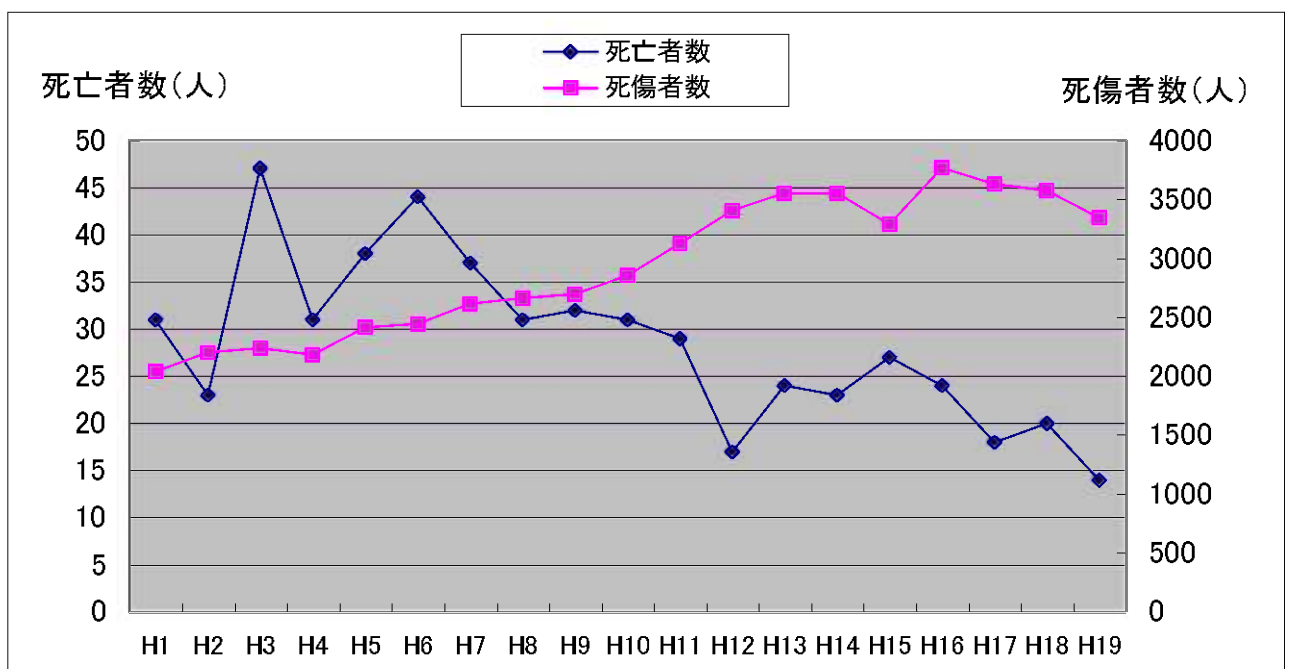
(仮称) 豊田市交通安全教育施設整備・運営事業の概要

事業目的及び趣旨

- ・交通事故死傷者数を削減するために、交通事故の原因分析に基づく効果的な交通安全教育の充実及び体験学習機能の強化を図ります。そのための拠点施設として、(仮称) 豊田市交通安全教育施設を整備します。
- ・特に新しい教育施設では、子どもと高齢者に的を絞った体験学習を通して、身近に潜む交通事故の危険性や自己防衛の重要性を含め、幼児期から継続して交通ルールやマナーを習得する機会を、高齢者については、加齢による自己の能力や交通環境変化への対応を認識する機会を提供します。
- ・さらに広く一般に対しても、車両の性能限界や交通事故の原因となっている事象等を仮想体験することにより、交通安全意識の必要性を認識する場を提供します。

背景 (交通事故の状況)

- ・本市の交通事故死亡者数は、平成3年の47人をピークに徐々に減少し、平成19年には14人となっています。しかしながら、交通事故死傷者数は、平成3年には2,240人であったものが、平成19年には3,343人と逆に増加しています。

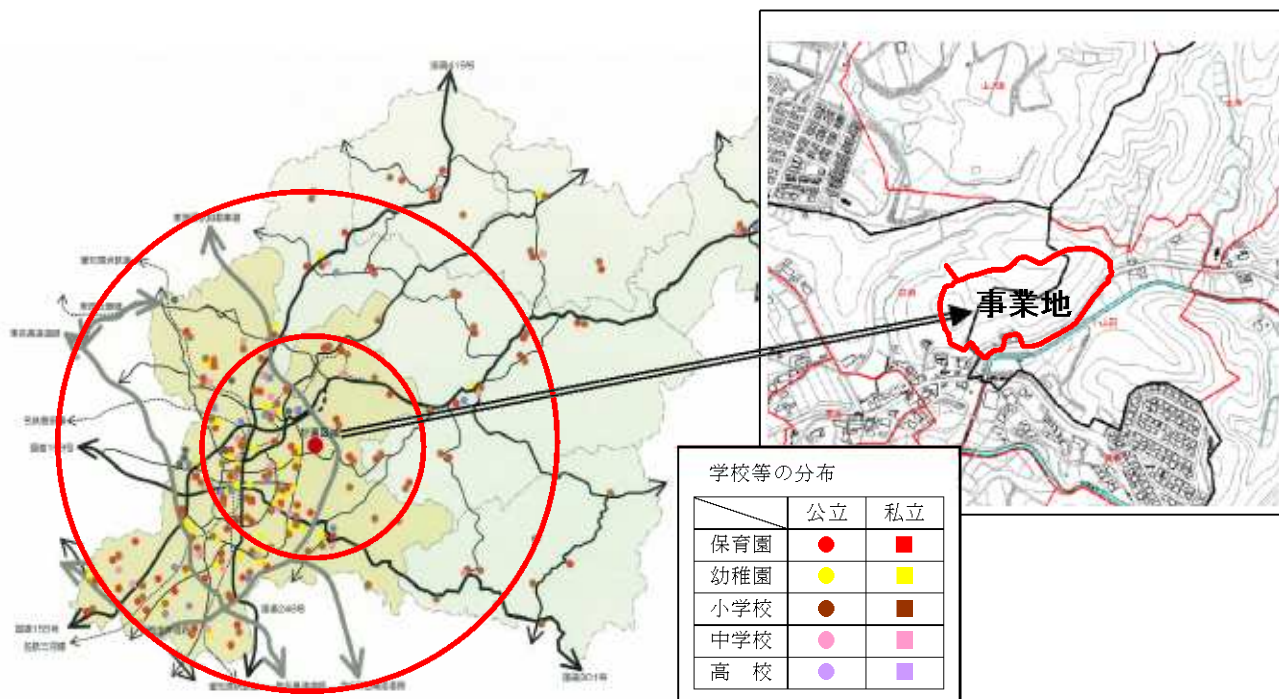


※ 平成元年～16年の数値は豊田市、藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町、稲武町の合計で算出

事業概要

1 施設整備の概要

(1) 場 所 豊田市池田町小山田494-24ほか



(2) 施設の概要

敷地面積	施設整備対象面積 24,830㎡ 全体敷地面積 49,610㎡ (維持管理業務対象を含む)
主な施設	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全学習館 (延床面積2,700㎡程度) 教室、シアターホール、体験型展示等 市街地模擬路 (15,000㎡以上) 模擬道路、住宅ゾーン、自転車等練習ゾーン、広場、 ゴーカート・ミニ列車コース その他屋外施設 (駐車場、進入路等)

(3) 利用見込 ・団体利用 (園児、小学1・4年、中学1年、高校1年、高齢者)
・一般利用 (50,000人/年程度)

区 分	園 児	小学1年	小学4年	中学1年	高校1年	高齢者	団体合計	一般利用 者の見込
(参考)対象者数 (H17年度データ)	8,417人	4,347人	4,113人	4,083人	3,477人	34,243人	58,680人	50,000人

(4) 施設の基本コンセプト

- ・体系的に交通安全を学ぶ
幼児から高齢者までが交通安全を体系的に学ぶことができる施設
- ・体験的に交通安全を学ぶ
交通事故の原因となる危険な状況を体験的に学ぶことができる施設
- ・楽しみながら交通安全を学ぶ
親子や家族で来場し、交通安全を楽しみながら学ぶことができる施設

2 事業手法の概要 …… P F I 事業による事業実施

※ P F I 法【民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用を図るため、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(平成 11 年法律第 117 号)】に基づく事業

(1) 事業方式 …… B T O 方式 (Build Transfer Operate)

※ 民間事業者で施設を整備、完成後に施設の所有権は市に移転し、事業期間中の運営を民間事業者で行う方式。

(2) 事業形態 (事業者の収入) …… サービス購入型

※ 市がサービスの対価を支払い、民間事業者は市からの支払いを事業収入としてコストを回収する形態。

3 P F I 事業の範囲及び期間

- ・ 施設整備業務 (設計、建設、工事監理、展示等の特殊機器設置) 並びに 15 年間の維持管理及び運営業務
- ・ 契約締結日 (平成 20 年 6 月予定) から平成 37 年 3 月 31 日

4 事業スケジュール

- ・ ~平成 20 年 9 月中旬 事業用地の造成工事 (土地開発公社実施)
- ・ 平成 20 年 6 月下旬 事業契約の締結 (6 月市議会)
- ・ 平成 20 年 6 月下旬
~平成 22 年 3 月末 民間事業者による施設の設計・建設及び運用準備
- ・ 平成 22 年 4 月 1 日
~平成 37 年 3 月末 施設オープン (民間事業者による 15 年間の維持管理及び運営の実施)

民間事業者の概要

1 民間事業者の選定結果 【平成20年1月7日決定・1月8日公表】

優先交渉権者：日本道路グループ

代表企業 = 日本道路(株)

構 成 員 = 矢作葵ビル(株)、(株)乃村工藝社、(株)トヨタ中央自動車学校

協力企業 = 中日本建設コンサルタント(株)、(株)損保ジャパン・リスクマネジメント

○ 特別目的会社（日本道路グループが設立した会社）

所在地：豊田市三軒町8丁目18番地 （トヨタ中央自動車学校内）

商 号：豊田交通教育株式会社

代表者：代表取締役 社長 澁谷博志 （日本道路株式会社より）

2 民間事業者の提案概要（参考）

優先交渉権者【日本道路グループ】の提案施設鳥瞰図（イメージ）



優先交渉権者（日本道路グループ）の提案概要

(1) 交通安全教育施設ランドコンセプト

与えられる「教育」から、自発的な「学習」へと促し、思いやり、譲り合いのやさしさで、人と車のおりあい（調和）の心・技・体を学ぶ 豊田交通安全学習センター

(2) 施設整備の考え方

- 環境との共生とライフサイクルローコストの施設
- フレキシビリティの高い施設
- 来場したくなる魅力や学びたくなる魅力で溢れた施設
- 利用者が快適に利用できるメンテナンス性の高い施設



※本図・イラストは提案イメージであり、実際の建築物とは異なることがあります。

(3) 市街地模擬路・その他屋外施設

施設整備対象敷地面積	24,830.00 m ²
【市街地模擬路】	17,259.27 m ²
A: 商業地域ゾーン	651.61 m ²
B: 工業地域ゾーン	375.81 m ²
C: 住宅地域ゾーン	1,377.40 m ²
D: 模擬道路ゾーン	6,180.83 m ²
E: 広場ゾーン	1,970.26 m ²
F: 遊園ゾーン	4,836.95 m ²
G: 外周道路	1,866.86 m ²
【その他屋外施設】	7,570.73 m ²
H: 駐車場	1,404.70 m ²
I: 駐輪場	24.60 m ²
J: 通路、緑地	6,141.43 m ²



学習実験講堂における雨天時の体験実施例



全自動レール式ダミー人形による飛び出し事故実験イメージ

全天候に対応可能な屋根付き見学スタンド

(4) 交通安全学習館

- 延床面積 2,567.66 m²
- 構造 鉄骨造
- 階層 2階建 (R階)

主要スペース

- 【1階】 エントランスホール、受付、教室、会議室、多目的ルーム、など
- 【2階】 大人数参加体験型シアター、体験型展示室、企画展示スペース、など
- 【R階】 階段室、EVホール、屋上庭園、ボードデッキ、など



(5) 特殊機器

- 大人数参加体験型シアター



- ・面積 170.96 m² ・客席数 100席
- ・機能 ①客席のジョイスティック（入力装置）を操作することで回答や多数決が可能なインタラクティブ（双方向的・対話的）機能、②バックヤード係員が操作する愛嬌のあるキャラクターと司会者との掛け合い、③TVスタジオのようなライブカメラによる演出などで、会場全体が一体となったコミュニケーション。⇒ 参加して考える！楽しみながら学ぶ！

- 体験型展示

- ・面積 469.74 m² ・構成 ①体験ステージ、②学習のステージ、③VRステージ



「VRステージ」では、3D映像により、主に歩行者視点での実地体験では実感しにくい道路の危険を疑似体験することが可能。